

京都創生

KYOTO SOUSEI

第8号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。



【特集】“今年で3回目、オール京都の連携で！”

「京あるき in 東京 2013

～恋する京都ウィークス～」を開催



東京で奥深い京都の魅力を発信する87のイベントを実施

京都市、京都商工会議所、(公社)京都市観光協会、京都創生推進フォーラムでは、3回目となる「京あるきin東京2013～恋する京都ウィークス～」を平成25年2月4日から20日までの17日間、都内各所で開催しました。

この取組は、情報発信の要である首都圏において「京都創生」をPRするとともに、「京都ファン」の拡大を図るために開催するものです。

2月4日のオープニングイベントを皮切りに、京都ゆかりの161(昨年134)の企業や団体、大学が、ホテルでの東山花灯路の再現や妙心寺退蔵院の若手絵師による襖絵の披露、京都迎賓館や京町家の保存・再生をテーマとしたシンポジウム、京都の大学による特別講座等、87の催しを実施しました。

また、今回は、大河ドラマ「八重の桜」放映を機に交流を深める会津若松市と連携したイベント等、これまで以上に首都圏の皆様により多彩で奥深い京都の魅力を堪能していただくことができました。



オープニングゲストに雅楽師・東儀秀樹さんを迎えての京都創生トーク(左から、司会・こばやしあきこさん、門川大作京都市長、東儀秀樹さん)(丸ビル1F マルキューブ)



京都ブランドフォーラム in 東京
(丸ビル7F 丸ビルホール)



京都市・会津若松市「八重の桜」
応援イベント(丸ビル1F マルキューブ)



東海東京証券プレミア美術展
([京都妙心寺退蔵院 村林由貴 襖絵展])

この京あるきin東京は、回を重ねるごとに、参画いただく企業・団体・大学が増加するとともに、事業規模も拡大し“オール京都体制”で“ほんまもの京都”を発信しています。今後も、この「京あるきin東京」をきっかけとして結ばれた絆を大切にし、全国の皆様へ「国家戦略としての京都創生」の取組を理解し、応援していただけるよう、京都を愛する皆様とともに取組を進めていきます。

★「京あるきin東京」の情報については、下記のホームページ、フェイスブックページで閲覧することが可能です。

(公式ホームページ) <http://www.kyoaruki.jp/>

(フェイスブック) <https://www.facebook.com/kyoarukiintokyo>

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

京都創生連続セミナー

京都創生推進フォーラムと京都市では、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた市民の皆様の自主的な活動を推進するために、景観・文化・観光分野の専門家から、京都の魅力や素晴らしさ、課題などを聞き、京都への理解を深める、京都創生連続セミナーを開催しています。

第18回 茶の湯釜の歴史と鑑賞 ― 瀟洒の美、朽ちの美 ―

創造性に満ちた造形や精緻な技を極め、「都の風をうけた端正で瀟洒な美しさ」「“朽ち”や“やつれ”などの言葉に象徴される侘びの美しさ」の両面の美に裏打ちされた茶の湯釜の魅力を、作り手の立場からお話しいただきました。また、会場に本物の茶の湯釜も展示いただくとともに、その見どころについてご解説いただきました。



開催日：平成24年12月8日(土) 会場：キャンパスプラザ京都

講師：大西 清右衛門氏（釜師・大西家十六代当主）

○プロフィール

昭和36年京都市三条釜座生まれ。昭和61年大阪芸術大学美術学部卒業。平成5年十六代大西清右衛門を襲名。平成10年大西清右衛門美術館を開設、館長に就任。平成15年京都市芸術新人賞受賞。平成18年京都府文化賞奨励賞受賞。芦屋釜の幻の技法とされた「挽き中子技法」の再現や、歴代中の名手・二代浄清の「夜学釜（慈照寺伝来）」復元に成功するなど、過去の技法や名品を手本とし、新たな創造を試みている。著書に『茶の湯の釜』。京都創生百人委員会委員。

■400年以上前から「朽ちの美」を探求

鉄は時代が経つと錆びて朽ちていく性質をもちます。鉄を素材とする茶の湯釜も同様、時代が経つことで、表面には自然と「肌」と呼ばれる鉄独特の味わいがあらわれてきます。茶人たちはすでに四百年以上も昔から、釜が朽ちることによって荒れた肌や、割れたところに面白さや美しさを見出し、釜師はそれを意図的に釜に表現する技術を会得していました。

■多種多様な意匠を楽しむ

茶室に入ると、ほの暗い光のなかで釜のシルエットがぼうっと浮かびあがります。まずは釜の形を感じ、少しずつ目が慣れてくると細部に目が行き届くようになります。そこからは、どのような肌をしているか、絵柄は何か、銀付（耳）の形は何かなどを楽しんでください。釜は湯を沸かす道具なのですが、依頼主や持ち主の意向が大いに反映され、数多くの意匠があるものなのです。

■さらに技術を磨く

以前私は、室町時代に隆盛を誇った芦屋釜に用いられる「挽き中子技法」の再現に成功することができました。復元をするときも、新しい技術に挑戦するときも、頭で考えている間はうまくいきません。まずは手を動かし、失敗することで糸口を見つけてやり直す、その試行錯誤の繰り返しが大切なのです。これは釜の制作に限ったことではありません。そうすることで、後に繋がる知恵や技術が生まれていくと信じています。

第19回 書のある暮らし

セミナーでは、京都のくらしの中に生きている書をご紹介いただき、書の魅力、手書き文字の大切さについてお話いただきました。また、会場で実際に揮毫いただくとともに、亀山公園にある歌碑もご案内いただきました。



開催日：平成25年1月19日(土) 会場：小倉百人一首殿堂 時雨殿

講師：杭迫 柏樹氏（書家）

○プロフィール

昭和9年静岡県生まれ。昭和32年京都学芸大学卒業。昭和37年第5回日展に初入選。平成13年NHK教育テレビ「趣味悠々（くらしの中の書）」講師。日本藝術院賞（平成20年）、京都府文化賞功労賞（平成22年）、京都市文化功労者（平成24年）。現在、（公社）日展理事（審査員）、（公社）日本書芸院理事長、京都市美術館評議員、現代書道二十人展メンバー。「王羲之書法字典」など著作多数。京都創生百人委員会委員。

■ほとばしる生命を表現する書の魅力

「書はその人の如し」で、素晴らしい人物が書くと素晴らしい書ができます。ただ、技術を伴う世界ですから、訓練を続け技術を身に付けないと、その人間を表す書にはなりません。私は、「書は切り口の芸術」と考えています。書かれている線を切ったら、鮮血がほとばしるような書が素晴らしい。そう考えると、誰でも書の善し悪しがすぐに分かるようになります。

■書への尊敬心が上達の秘訣.....

上達の秘訣は、先人が築き上げた書の文化は素晴らしいものだと思つて尊敬の気持ちを持つこと、それ一つです。そうすれば、いまの自分の字は駄目だと思ひ一生懸命にようになります。反対に、書はこんなものだと思つて悪く悟ってしまうと、非常に上手いと言われた人でもその瞬間から、腕が止まってしまうどころか、だんだん衰えてしまいます。私は書家ですから、本当に書に尊敬の気持ちを持っています。

■日本文化を代表する京の書.....

書道史に出てくる人物は、ほとんどが京都在住の人です。日本を代表する書道の名手といわれる、弘法大師、橘逸勢、嵯峨天皇の三筆や、三蹟の小野道風、藤原佐理、藤原行成も京都に長く在住していました。つまり、京都の書が日本の書だったのです。また、京都は今も至る所に素晴らしい書が残っていて、気軽に鑑賞できるのが本当にありがたいです。これからも京都が素晴らしいまちになり、そこにある書が良い書になりますよう、見るだけではなくて、是非一緒にやりましょう。

※京都創生連続セミナーの詳細は、「京都創生推進フォーラム」のホームページにアクセスすればご覧いただくことができます。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

「京都創生推進フォーラム連携支援事業」対象事業紹介

当フォーラムでは、会員の皆様と連携し「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた取組の推進や広く「京都創生」への理解と機運の醸成に向けたPRを目的に、「京都創生推進フォーラム連携支援事業」を実施しています。ここでは、平成24年度に対象として実施された事業を紹介します。

事業紹介

講演会と京都創生学習ウォーク 京町家保存会 新撰組記念館

◆開催日

平成25年1月25日(金)～1月29日(火)
平成25年1月26日(土)
平成25年2月23日(土)

◆場 所 ひと・まち交流館 京都

展覧会「八重の桜」と京町家
講演会「京町家に80年暮らして」、京町家ウォーク
講演会 八重の桜「新島八重・覚馬と新島襄」、ゆかりの地ウォーク

企画趣旨

世界に誇る1200年の古都に残る文化遺産というべき京町家。その風情ある家並みや町衆の生み出した優れた生活の工夫や美しさは貴重な文化遺産ですが、年々少なくなりつつあります。京町家を後世に残すため、多くの市民に参加してもらい「京都創生」の輪を広げていきたいと当事業を企画しました。

ひとこと

セカンドライフワークとして私たちが20年間京都案内を行ってきた中で感じることは、本当に京都らしい家並みが残っていないことです。唯一残るのは、町衆の手で守られた祇園縄手と花街に残る家並みだけです。この事業では歩いて京町家を知ってもらい、「京都創生」の大切さを訴えました。また、大河ドラマ「八重の桜」を切り口に、京都に近代文化遺産を残した会津人の足跡を戊辰戦争後のことなどにも触れながら、講演会や展覧会で多くの市民に知っていただけました。



京都・嵯峨鳥居本再創造PJ 嵯峨野保勝会

◆開催日 平成24年8月～平成25年3月

◆場 所 嵯峨鳥居本地域一帯

企画趣旨

愛宕山へと続く街道に古い街並みが残る京都嵯峨鳥居本。ここで綿々と継がれてきた時間を未来へと繋ぐため、また、住まう人が自分の暮らしを見つめ直し、訪れる人が地域の魅力をちゃんと知る機会になればと、今回のプロジェクトを企画しました。

ひとこと

プロジェクトの一環として昨年10月に実施した「まち歩きイベント」では、地域内外の方から嵯峨鳥居本の魅力について伺い、最後に愛宕念仏寺で説法を聞きました。このイベントを通じていつもと違う視点でまちを見ることで、普段の暮らしでは気づかない嵯峨鳥居本の魅力を再発見できました。そのほかにも、ポストカードやチラシの作成、またホームページなどを用いて、広くこの魅力を発信し続けていきたいと考えています。



イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
第47回「京の冬の旅」 非公開文化財特別公開	通常非公開の寺院の文化財が期間限定で特別公開されます。	開催中～ 3/18(月) 10:00～ 16:00(受付終了) (一部拝観期間・拝観時間が異なります)	霊鑑寺・相國寺慈照院・大聖寺・妙心寺東海庵など京都市内14社寺	1カ所 600円 (一部異なります)	要※	対象14社寺・京都市観光協会 (075-752-7070) ※15名以上は要予約
【こころの京都百選】 完成記念 特別展	江戸から平成までそれぞれの日本画家たちの「京都」のイメージを紹介	開催中～ 3/24(日) 10:00～18:00 (金曜日は19:30まで。入場はそれぞれ閉館の30分前まで)	京都文化博物館3・4階 (京都市中京区三条高倉)	大人 1,100円 高大生 700円 小中生 400円	不要	京都文化博物館 (075-222-0888)
京都観光写真展	京都の魅力ある観光地や行事・史跡等を紹介している写真展です。	開催中～ 3/29(金) 9:00～15:00	京都銀行営業店ロビー (109か店) ※展示を一時中断する店舗もあります。	無料	不要	京都銀行 (075-361-2293)
町家の最古のおひな会	明治大正昭和のお雛様百体が飾られる町家の中で「お雛会食」、「昔遊び」など	開催中～ 4/3(水) 9:00～17:00 (見学とお話) 11:00～13:00 (会食・昔遊び付)	西陣くらしの美術館 (京都市上京区大宮通笹屋町下ル石薬師町700)	見学とお話 2,100円 会食・昔遊び付 8,400円	要	富田屋 (075-432-6701)
宝鏡寺「春の人形展」	宝鏡寺が所蔵する、雛人形を中心に一般公開します。	開催中～ 4/3(水) 10:00～16:00 (15:30受付終了)	宝鏡寺 (京都市上京区寺之内通堀川東入ル百々町547)	600円	不要	宝鏡寺 (075-451-1550)
古渡更紗展	400年程前に茶の湯の世界で大切に遺されてきた美しい更紗です。	開催中～ 5/31(金) 10:00～17:00	鈴木時代裂研究所 (京都市中京区丸太町通室町西南角)	500円	要	鈴木時代裂研究所 (075-231-2496)
漬物教室	家庭でできるヌカ漬の作り方をお教えます。	開催中～ 12/15(日) (日・祝・振替休日) ①10:00～②14:00～	川勝總本家 (京都市下京区大宮通五条上る上五条町394)	2,000円	要	川勝總本家 (075-841-0131)
京都東山花灯路・京都いけばな協会「いけばなプロムナード」[現代いけばな展]	大型花器によるいけばな展と若手花道家によるいけばな展	3/8(金)～ 3/17(日) 終日	京都市東山地域、円山公園周辺	無料	不要	京都・花灯路推進協議会 (075-212-8173)
京都定期観光バス 京都・東山花灯路コース	ライトアップされた京情緒たっぷりの東山界隈を散歩。夕食付	3/8(金)～ 3/17(日) 17:30発 (所要約4時間)	京都駅烏丸口乗り場	大人 6,000円 小人 4,580円	要	京都定期観光バス予約センター (075-672-2100)
高台寺「春の特別展」 「春の夜間特別拝観」	寺宝公開。桃山時代の庭園と近代演出の方丈庭園をライトアップ。	3/8(金)～ 5/6(月・休) 9:00～21:30 (受付終了)	高台寺 (京都市東山区高台寺下河原町)	大人600円	不要	高台寺 (075-561-9966)
京都市伝統産業技術功労者 顕彰記念作品展	京都市伝統産業技術功労者として顕彰された伝統工芸作品を展示	3/9(土)～ 3/20(水・祝) 9:00～17:00	みやこめっせ (京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)	無料	不要	京都市・京の伝統産業春秋会・京都伝統産業交流センター (075-762-2670)
写経会	月例写経。お写経の後は法話、浄斎弁当を味わっていただきます。	3/13(水) 発願文写経会 3/23(土) 一枚起請文写経会 9:00～12:00	知恩院和順会館 (京都市東山区林下町400-2)	2,000円	要※	総本山知恩院 (075-531-2111) ※10名以上は要予約
今一度、 京都を清掃致し申し候	新選組や龍馬の衣装を着てのボランティア清掃と写真撮影・散策・交流会(サムライカフェバー)	3/17(日) 4/14(日) 11:00～14:00	集合場所：東山いきいき市民活動センター 他 (京都市東山区)	3,000円	要	京都おもてな市民 (小林 090-8466-9966)
春のKBS京都マルシェ2013	KBSマルシェでおなじみのこだわり店舗が大集合！春の食祭！	3/20(水・祝) 10:00～16:00	KBSホール (京都市上京区烏丸上長者町KBS京都放送会館)	無料	不要	KBS京都事業部 (075-431-7350 平日10:00～17:00)
新人演奏家	2012年度新卒業生による器楽・声楽のクラシック音楽の演奏会	3/23(土) 18:00～21:00	京都府立府民ホール アルティ (京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1)	無料	不要	京都音楽家クラブ (090-9090-6003)
小倉あん発祥地顕彰式典	小豆発祥の地を後世に伝える。当日お善哉の振る舞いをを行います。	3/24(日) 11:00～15:00	小倉山二尊院 (京都市右京区嵯峨二尊院門前長神町27)	一般500円 (二尊院拝観料)	不要	小倉あん顕彰世話人会 (075-861-2124 井筒ハッ橋本舗)
東日本大震災チャリティコンサート 京都ミュージックプロムナード ～京都から願いを～	京都市の音楽諸団体が東日本大震災復興を祈る響きを奏でます。	3/31(日) 14:30～16:30	京都コンサートホール 大ホール (京都市左京区下鴨半木町1-26)	2,000円 (収益の一部を義援金として寄付します。)	要	(公財)京都市音楽芸術文化振興財団 (075-711-3231)、京都市
第55回春の宝松庵茶会	年2回のお茶会。茶席2席(点心付)伝統工芸の実演や抽選会有。	4/29(月・祝) 9:00～15:00	国立京都国際会館 (京都市左京区岩倉大鷲町422)	4,000円	要※	国立京都国際会館 (075-705-1234) ※申込締切4月15日
琴綾会 箏演奏会	生田流箏曲演奏会。古典からポップスまで独奏や合奏曲があります。	5/12(日) 13:00～15:30	池坊学園こころホール (京都市下京区四条通室町西入ル南側)	無料	不要	琴綾会 (075-801-4652)
日本画、新興展	新興美術院京都支部会員と一般公募による日本画を展示	6/4(火)～ 6/9(日) 9:00～17:00	京都市美術館別館 (京都市左京区岡崎公園内)	500円	要	新興美術院京都支部 (0773-22-4490)
愛宕古道街道灯し	手作りの灯籠約500個を会場の道筋に並べて蠟燭の灯りで演出	8/23(金)～ 8/25(日) 18:30～21:00	愛宕神社一の鳥居～祇王寺参道入り口付近まで(京都市右京区嵯峨鳥居本町)	無料	不要	嵯峨野保勝会 (075-871-3330)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。 ○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成25年3月7日

発行 京都創生推進フォーラム (事務局：(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)